

♪ 2020年度 *poco a poco* ♪

Nr. 12 2020年11月11日(水)

文責:プファイル・辰巳

Winterzeit

10月末から冬時間になり、日暮れがめっきり早くなりました。街路樹の葉っぱもほとんど落ちてしまい、いよいよ冬將軍の足音も聞こえてきそうな今日この頃です。

暗く寒い上にコロナの状況が悪化しており、この冬をどう乗り切るのか、やや不安のつる毎日です。右の挿絵は本日11月11日「マルティン祭」の絵ですが、今年は提灯行列もできそうにありませんね。各地のヴァイナハツマルクトも次々と中止が警告され、寂しい限りです。せめてアドヴェンツクランツなど準備して、心穏やかに12月を迎えたいものです。

さて、学校では例年とは違う形での学校祭・発表の部が終わりました。子どもたちの熱演を間近で見ただけなかったのは残念でしたが、Zoomのおかげでライブ観賞していただけたのは、よかったですと思います。子どもたちが一生懸命何かに取り組む姿は、いつ見ても心を揺さぶられます。人が見ている見ていないにかかわらず、また自分の得意・不得意にかかわらず、何事にも真摯に取り組む人であってほしいと思っています。



2学期ミニコンサート・中止のお知らせ

「2学期のミニコンサートはどうなるの?」・・・子どもたちから何度か聞かれました。残念ながら授業で合唱やリコーダー合奏をするのもままならない状況です。2学期のミニコンサートも、開催を見送ることになりました。一人で練習することは可能ですので、目標を見失わず、日々の楽器練習を続けてください。3学期のコロナ制限緩和を願っています。

音楽こぼれ話 <語源を探ろう ①>

その音をほどよくのばす!? ~フェルマータ~

楽譜の中でよく見かける左の記号「フェルマータ」。教科書では「その音をほどよくのばす」などと説明されています。多くの音楽記号と同じくフェルマータもイタリア語です。

「一旦停止」の意味があるので、イタリアのバス停には、「FERMATA」の表示があります。バスストップというわけでは、



では、なぜフェルマータが「その音をほどよくのばす」という意味になるのでしょうか。私の中学時代の音楽の先生は「この記号が出てきたら、拍子の運動を一時停止する」と説明されていました。つまり指揮者のタクトが一瞬止まり、音楽の流れがそこで一旦停止するわけです。すると、その音が必然的にのびることになります。

ところで「ほどよく」ってどのくらいの長さなのでしょう。これは人によって感じ方が様々で、大変難しい感覚の問題になってきます。ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」の出だしは、どなたでもご存知ですね。例の「ジャジャジャジャー」で始まるフレーズです。1回目のジャジャジャジャーと2回目のジャジャジャジャーの間をどれくらいとるのか、また2回目の最後の音をどれくらいのばすのか等を例にとれば、指揮者によってそれぞれ違う演奏になるというのは、分かっていただけだと思います。

曲によってはこのフェルマータが休符の上についていることもあります。演奏会では曲の終わりや間違えて、ここで拍手をしてしまうあわてんぼうもいます。ここで大事なことは、フェルマータはあくまでも「一旦停止」、つまり音楽の流れが完全に止まってしまって終了することではないということです。曲をよく知らなくても、聴衆は指揮者や演奏家の中にさらに流れ続けている音楽の緊張感を感じ取る必要があります。音が止んだからといって、すぐに拍手をする必要はないので、演奏家の動きを注視してください。緊張がとけてから拍手するのが無難です。

最後に蛇足ながら、イタリアではこのフェルマータ記号を、その形(円冠)から俗称「CORONA」と呼ぶことも多いそうです。今の時期には紛らわしいので、あまり使う人はいないかしら...?

コンサート会場、再び休演に・・・

せっかく再開したコンサート会場や映画館などが再びコロナ制限を受けて休演してしまいました。12月の再開を期待したいものです。チケットの払い戻しは1か月以内に申請してくださいとのことです。